



MANCHESTER Series

MV210-HC

Full Size Dual 10" Hybrid Curve Element for Install and Touring

MS121

Single 21" Front Loaded Subwoofer for Touring and Install Applications

MAN210-FG

Universal Fly Grid for MANCHESTER MV210-HC Array Elements and MS121 subwoofers

MV210-VT

Vertical Transporter for 4 MANCHESTER MV210-HC Line Array Elements

MS121-VT

Vertical Transporter for MANCHESTER MS121 Subwoofers

JP 安全指示

1. これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ拭いてください。
7. 換気口をふさがないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 製造元が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。



10. 製造元が指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。



11. この製品の正しい廃棄：この記号は、WEEE指令 (2012/19 / EU) および国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。

12. 本棚などの狭い場所には設置しないでください。

13. 火のともったろうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

ようこそ

このたびはTurbosound ラウドスピーカー製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。本製品および他商品についての詳しい情報は、ぜひ当社ウェブサイト turbosound.com をご覧ください。

ラウドスピーカーの開梱

ユニットを開梱したら、損傷がないかどうかをよくご確認ください。損傷を見つけた場合は、すぐにサプライヤーにご連絡ください。荷受人であるお客様自身に、請求をおこなっていただく必要があります。返送を要する場合に備えて、梱包材はすべて保管しておいてください。

システム要件

MV210-HC は、中周波数帯域および高周波数帯域で使用されるパッシブ クロスオーバーを備えた、パイアンプ 3 ウェイ ラウドスピーカーです。2 チャンネルのアンプと DSP が必要です。Lake XPに基づくプリセットでは、モジュール アウトプット ミキシング (MoM) はもう使用されませんが、代わりに、プリセットは各モジュール出力で3バンドのMultibandを利用します。

MS121サブウーファーは、一般的な前方への音声放射では、1チャンネルのアンプリファアーおよびDSPが必要です。カーディオイド（単一指向性）ベース セットアップでは、追加のアンプリファアーおよびDSPチャンネルが必要です。

Manchesterシリーズのラウドスピーカーは全て、Lab Gruppen PLM+ およびD シリーズ L プラットフォームで、LAKEプリセットのみを使用します。その他のアンプリファアーおよびDSPプラットフォームには対応していません。

ManchesterシリーズはLakeソフトウェアの最新機能を活用した、パワフルかつシンプルなプリセットストラテジーを持ち、長いアレイや有効距離に対応するための、新たな音響補正オーバーレイも備えています（本クイックスタートガイドで後述）。

プリセットデータは、Lake Load Libraryをご利用いただくか、www.turbosound.comよりダウンロードしてください。

Touring アプリケーションに推奨のLab Gruppen PLM+ モデルは、PLM12k44 および PLM20k44です。

Lab Gruppen D シリーズ L モデルを使用して設置する場合は、Lab Gruppen の「CAFE」ソフトウェア（www.labgruppen.com からダウンロード可能）を使用して、システムに最適なアンプ構成を決めてください。

システム配線要件

アンプの電力浪費を避けるには、最小ワイヤーサイズが 2.5 mm² (14 AWG)、配線が長くなる場合や、キャビネットの入力インピーダンスが 8Ω未満の場合は、できれば 4 mm² (12 AWG) の、高耐久性スピーカーケーブルをご使用ください。ケーブルがかなり長くなる場合は、ケーブルの抵抗および抵抗損失にご注意ください。常に極性が正しくなるようご注意ください。

信頼性の高いオペレーションを実現する、純正 NEUTRIX SPEAKON コネクターをご使用ください。

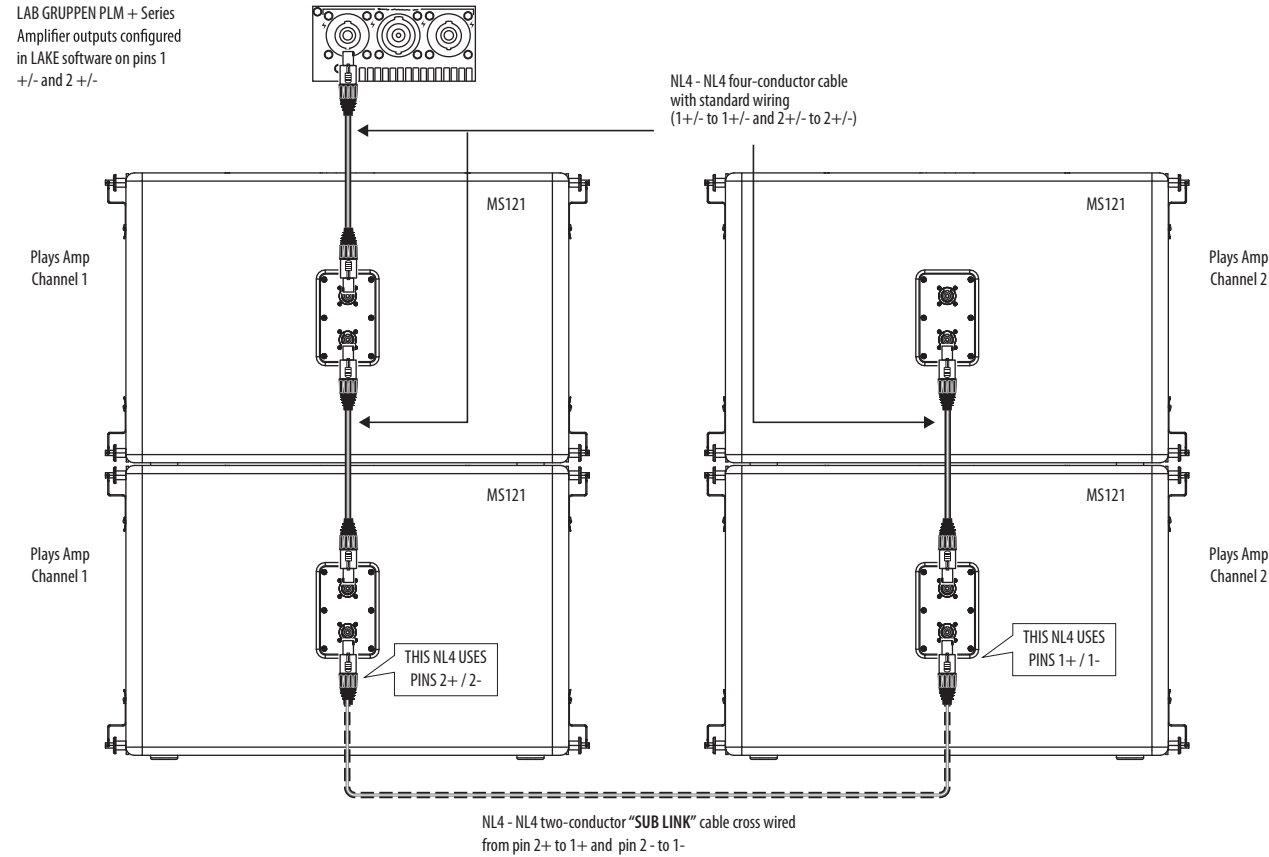
サブウーファースの配線

注意: MS121サブウーファースは 1+/- = LF および 2+/- = LINKに配線されているため、複数のMS121エンクロージャーに給電するには、SUB LINK ケーブルのワイヤリングを次のようにしてください: 2+ -> 1+ および 2- -> 1-。

アンプリファースチャンネルごとに2台のサブウーファースに給電する場合は、Lab Gruppen バイワイヤース NL4 出力 (チャンネル 1 = 1+/-; チャンネル 2 = 2+/-) からの標準 NL4 リンク ケーブルと、SUB LINK ケーブルとを組み合わせて使用します。詳しくは、以下の配線図をご参照ください。

チャンネルごとにサブウーファース1台に給電する場合は、NL4ケーブルをLab GruppenのバイワイヤースNL4出力 (チャンネル1 = 1+/-; チャンネル 2 = 2+/-) から1番目のサブウーファースに接続し、SUB LINKケーブルを2番目のサブウーファースに接続します。

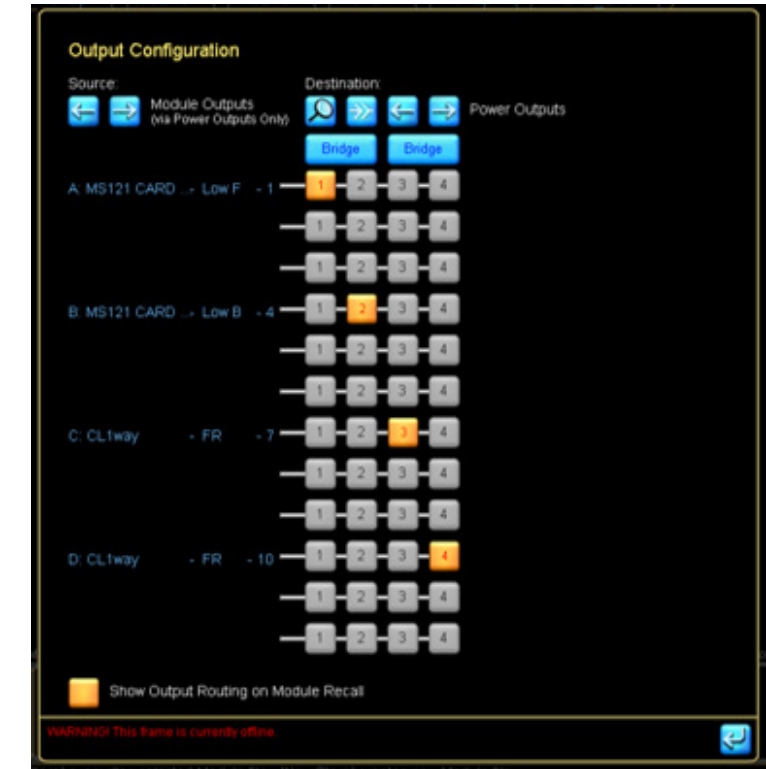
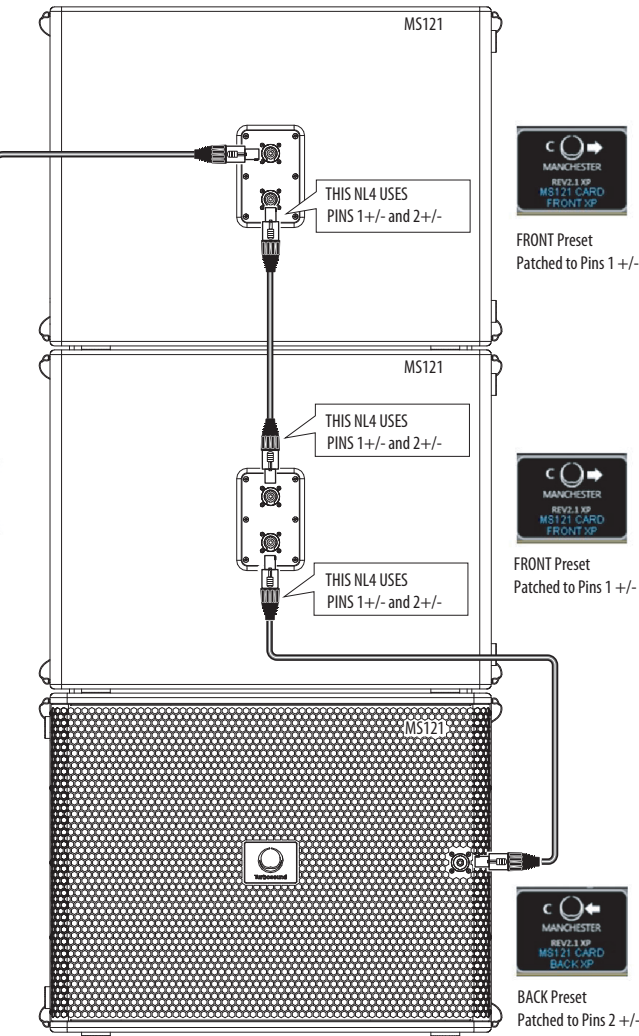
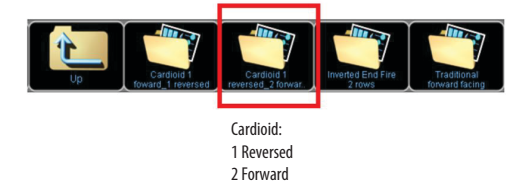
アンプリファースチャンネルごとに 2 台のサブウーファース



カーディオイド BFF (バック、フオワード、フオワード)、4コア NL4 ケーブル使用、DSP×2 および アンプリファースチャンネル ×2

LAB GRUPPEN PLM + Series Amplifier outputs configured in LAKE software on pins 1 +/- and 2 +/-

All cables are NL4 - NL4 four-conductor with standard wiring (1+/- to 1+/- and 2+/- to 2+/-)



接続

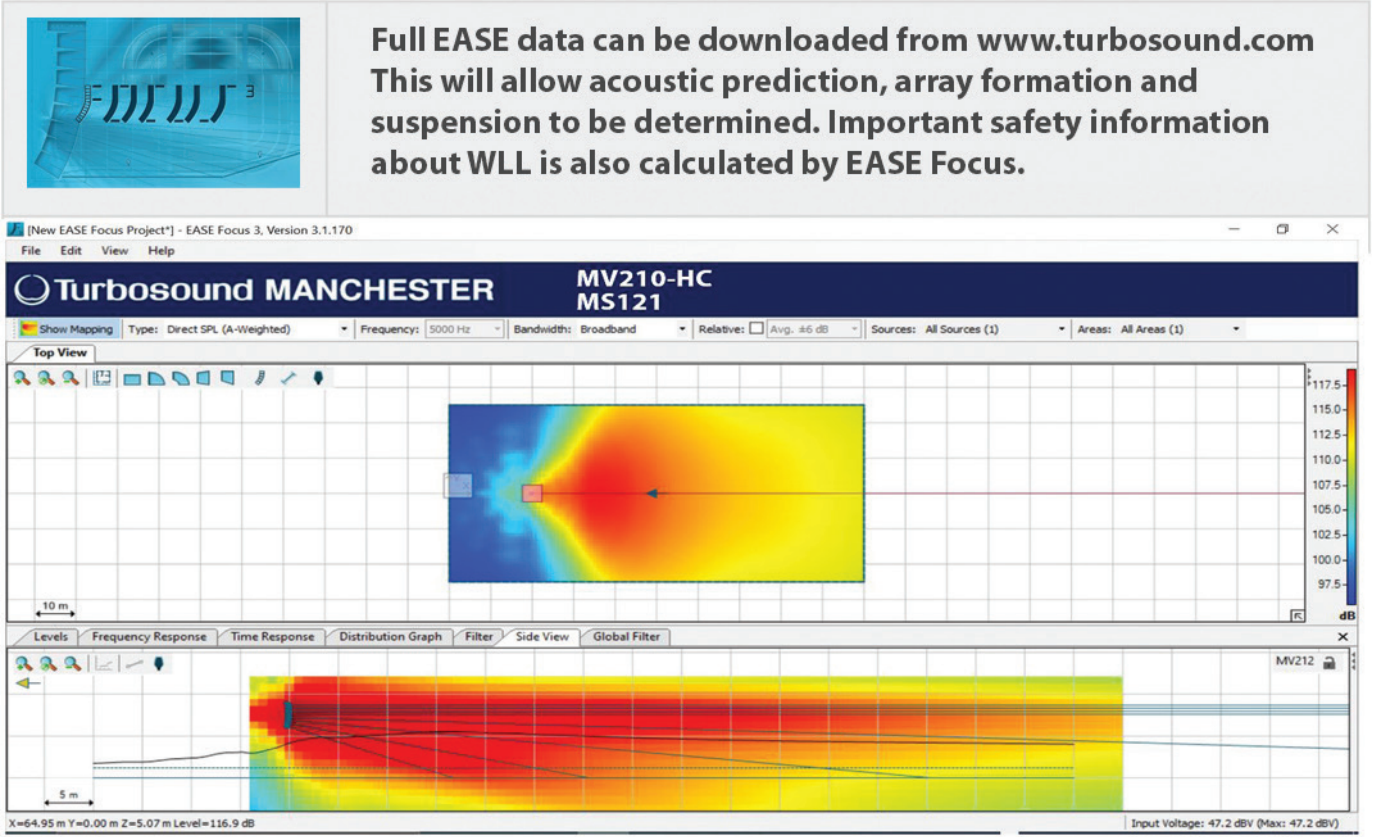
Mode	Back Panel and Front Panel	Connector	Internal Schematic
MV210-HC			
MS121 rear panel			
MS121 front panel			

リギングおよび音響シミュレーション ソフトウェア

ラウドスピーカー、フライグリッド、およびすべてのサスペンションハードウェアの、安全な吊り下げ並びに取り付け方法については、MAN210-FG リギングマニュアルをご参照ください。

MANCHESTER シリーズのラウドスピーカーおよびフライグリッドは、厳正な BGV-C1 規格に基づき、設計およびテストされています。これらのスピーカーの吊り下げは、必ず、turbosound.com にてオンラインで入手できる、MAN210-FG フライグリッド リギングマニュアルに従い、実行してください。

音響シミュレーションプログラムのEASE Focus 3は、<https://www.afmg.eu/en/ease-focus>にて無料でダウンロードいただけます。

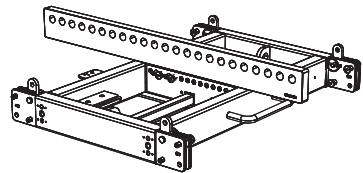


アレイの吊り下げ設置について

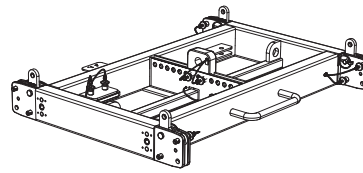
安全上の注意: 吊り下げ設置の構成および設計は、必ず有資格の技術者のみが、turbosound.com にてオンラインでご利用いただける、MAN210-FG フライグリッド リギングマニュアルの指示および手順に従っておこなってください。アレイの最大サイズ、重量および作業負荷の制限については、このリギングマニュアルをご参照ください。不適切な取り付けをおこなった場合、死亡や回復不能な負傷につながります。

MAN210-FG フライグリッドは汎用性が高く、Manchester MV210-HC および MS121 スピーカーを、異なる複数の構成でフライング設置できます。

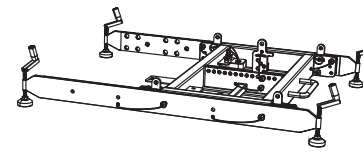
MAN210-FG に、シングルまたはデュアル サスペンション用のマルチピックポイント チップバーを装備。



MAN210-FG に、チップバーの代わりに、シングルピックポイントプレートも使用可能。

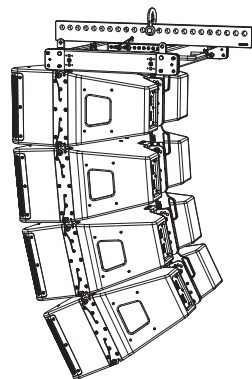


MAN210-FG に、アレイを前傾または後傾する際に安定性を高める、調節可能な足が付いたサイドサポート「アウトリガー」を装備。グランドスタックプレートは、スピーカーをグランドスタックする際に、MV210-HC背面のmountポイントに取り付けて使用します。



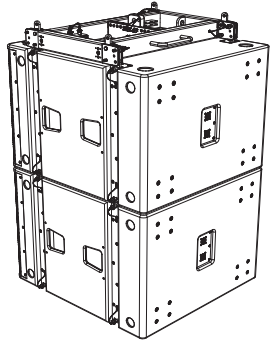
MV210-HC のアレイ例

MV210-HC スピーカーをMAN210-FG フライグリッドに取り付け。MV210-HC 背面取り付けプレートで角度を調整します。



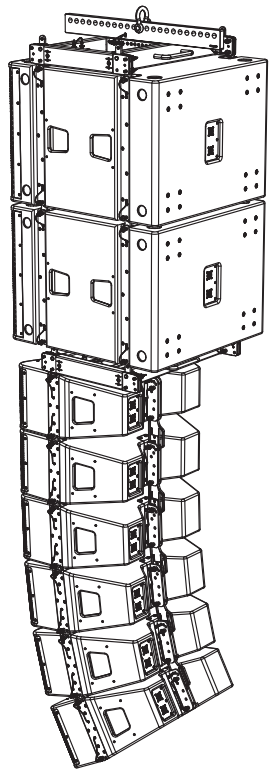
サブウーファーのアレイ例

MS121サブウーファー2台を、MAN210-FG フライグリッドに取り付け。サブウーファーはリアファイアリングでもマウント可能です。



ハイブリッドアレイ例

2台目のMAN210-FGを、下のMS121サブウーファーの底面に取り付け。そしてMV210-HC スピーカーを下下のフライグリッドに取り付け。

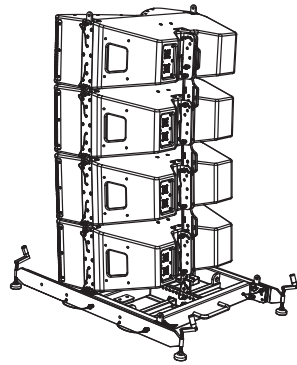


グランドスタック

安全上の注意: グランドスタック構成の設計およびリギングは、必ず、有資格者が、turbosound.com にてオンラインで入手いただける、MAN210-FG フライグリッド リギングマニュアルの指示と手順に従って行ってください。これらの指示に従わない場合、死亡または永続的負傷につながる恐れがあります。

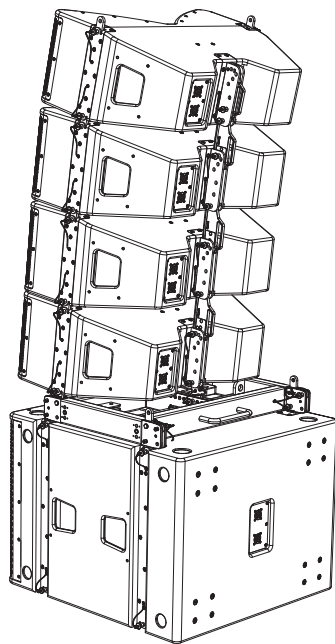
MV210-HCのグランドスタック例

グランドスタックプレートを装備したMAN210-FGフライグリッドを、最下層のMV210-HC背面のmountingポイントに取り付けます。調節可能な足が付いた2つのアウトリガーによって、高い安定性とサポートを実現します。アウトリガーは、アレイが前傾か、直立か、後傾かに応じて、3種類の位置に取り付け可能です。



ハイブリッド グランドスタックの例

MAN210-FGフライグリッドをMS121サブウーファーの上面に接続し、それからMV210-HC スピーカーをフライグリッドの上面に接続します。



Lake プリセットオーバーレイおよびアプリケーションノート

Manchesterシリーズのラウドスピーカーは全て、Lab Gruppen PLM+ およびD シリーズ L プラットフォームで、LAKEプリセットのみを使用します。その他のアンプリファアーおよびDSPプラットフォームには対応していません。

ManchesterシリーズはLakeソフトウェアの最新機能を活用したパワフルかつシンプルなプリセットストラテジーを持ち、長いアレイや有効距離に対応するための、新しい音響補正オーバーレイも備えています。

プリセットデータは、Lake Load Libraryをご利用いただくか、www.turbosound.comよりダウンロードしてください。

MV212、MV212-XV、MV210-HC および MC12-P の各ラウドスピーカーには、個別のBi-AMP FIR ベースプリセットがあります：MS サブウーファーの有無にかかわらず、フルレンジとなっています。

* MC12-Pにもバイアンプモード (2チャンネル DSP/AMP) とパッシブモード (1 チャンネルDSP/AMP) があります。

MV212、MV212-XV、MV210-HC、MC12-P、MS Subwoofer modules are based on the XP module from Lake software.

警告：MV212/MV212XV/MV210-HC/MC12-P ラウドスピーカーを同一のアンプリファアー/DSP回路で組み合わせて使用しないでください。さもないと機器が損傷する恐れがあります。

警告：出力のパッチングには細心の注意を払ってください。

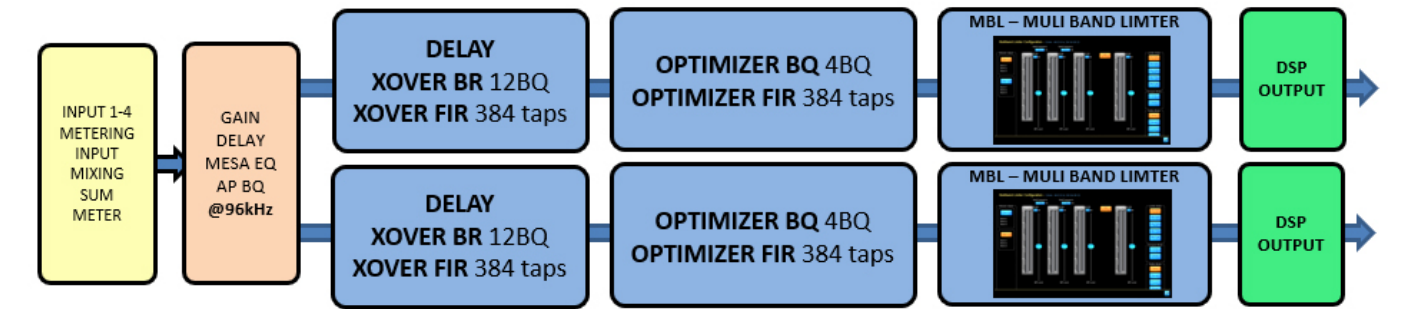
MV212、MV212-XV、MV210-HC、MC12-P、およびMSサブウーファーモジュールは、LakeソフトウェアのXPモジュールに基づいています。

本クイックスタートガイドでは、REV2.1 XPプリセットを参照しています。v

警告：REV1.1 (旧「FIR3way」モジュール) および REV2.1 XP モジュールは、同一システム内では非互換です。

必ず、LakeソフトウェアV7.0.7以降をご使用ください。

Lake XPの信号フロー：



Lake Controllerのダウンロードには、Lake Controller操作マニュアルが付属します。これは、Lake Controllerおよび、PLM+シリーズアンプリファアーなどの互換ハードウェアのフルチュートリアルとなっています。

本クイックスタートガイドでは、Lake Controller の基本的な操作知識があることを前提とし、Turbosound Manchester シリーズのワークフローおよびプリセットストラテジーに焦点を当てています。

DESCRIPTION

1.1: フレーム (アンプリファァー) は「Main」ワークスペースページにあります。

この図はPLM12k44の、DSP プリセットモジュールを読み込んでいない初期フレームです。

OVERLAY

モジュールをLake Load Libraryから読み込むには:

フレーム内の「Module A」を左クリックします。

Module Aの枠が黄色になり、ワークスペース下のボタンに、複数のモジュールオプションが表示されます。ここに「Modules」ボタンもハイライト表示されています。

モジュールを読み込むには:

「Module Store/Recall (モジュールの保存/呼び出し)」ボタンをクリックします。

DESCRIPTION

フォルダが表示され、読み込むモジュール (プリセット) の参照元を選択可能になります。

「Lake Load Library 5.5」フォルダをダブルクリックします。

OVERLAY

矢印キー (>> <<) で画面下方をスクロールし、「Suitable for TURBOSOUND Loudspeakers (TURBOSOUNDラウドスピーカー対応)」フォルダを探し出し、ダブルクリックして開きます。

再度、矢印キー (>> <<) でスクロールして「Manchester REV2.1 XP」フォルダを探し、ダブルクリックして開きます。

警告: 「Manchester」フォルダは開かないでください。このフォルダには、2022 年 10 月に REV2.1 XP に置き換えられた、旧モジュール REV1.1 FIR3wayが含まれているためです。本クイックスタートガイドは、REV2.1 XP モジュールのみの解説となりますのでご注意ください。

DESCRIPTION

3つのフォルダが表示されます。「Modules」をダブルクリックします。

警告：「Array Size Comp」および「Distance EQ」はまだ開かないでください。これらはEQオーバーレイで、本クイックスタートガイドで後述します。

OVERLAY

利用可能なモジュールフォルダが表示されます。

いずれかを左クリックすると、モジュールのセットアップに関する詳細が表示されます。

ヒント：表示された情報をお読みくださるようお願いいたします！

「Modules」フォルダをダブルクリックすると、フレーム（アンプリファア）の、ハイライト表示されているモジュールに、モジュールプリセットを開きます。

「YES」を押して進みます- 選択したプリセットが読み込まれました！

DESCRIPTION

出力構成：

これで、DSPモジュール出力を、フレームのアンプリファア出力にパッチ可能になりました。


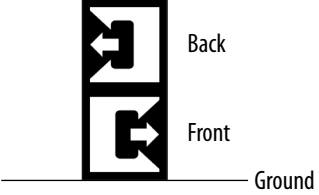
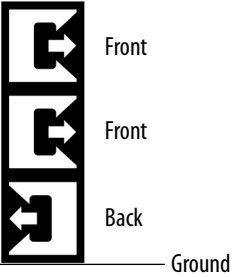
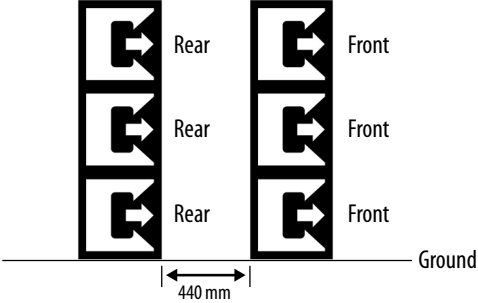
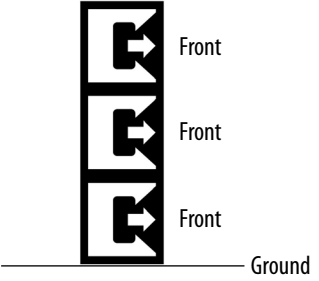
このモジュールでは、Lowをピン1に、ハイをピン2にします。パッチは黄色の枠と赤色の文字でハイライト表示されます。

出力パッチを適切に完了したら、Enterキーを押して出力構成画面を閉じます。

注意：他のプリセット モジュールを無料のC & D モジュールと同じ手順で読み込むか、またはIO オプション ボタンを使用して、この画面にアクセスできます。

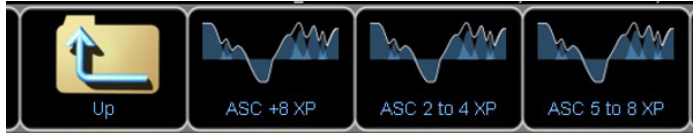
OVERLAY

プリセット モジュールの呼び出しおよびA/B ハードウェア モジュールへの読み込みが確認できます。

SUBWOOFER STRATEGY	ILLUSTRATION
Manchesterシリーズはパワフルかつシンプルな、サブウーファー プリセットストラテジーを備えています。 注意：同一のアンプリファァー／DSP回路でMS215、MS218、MS121サブウーファーを組み合わせ使用しないでください。	
カーディオイドBF 比率1:1 前向きキャビネット1台、後向きキャビネット1台 ・効果的なカーディオイドパターン ・良好なリアリジェクション ・過渡特性に多少の妥協 ・サブウーファーの使用効果が少し劣る	
カーディオイドBFF 比率2:1 前面向きキャビネット2台、後面向きキャビネット1台 ・効果的なカーディオイドパターン ・良好なリアリジェクション ・過渡特性に多少の妥協 ・効率に最も優れた比率	
インバートエンドファイヤー 比率1:1 フロントキャビネットはFRONT プリセット使用 リアキャビネットはREAR プリセット使用。 リアキャビネットは前向き、2セル インバートッドエンド ファイヤーアレイの後面に位置 ・効果的なカーディオイドパターン ・良好なリアリジェクション ・卓越した過渡特性 ・サブウーファーを効率的に使用 ・物理的に奥行きが必要 (800 mm + 440 mm + 800mm)	
トラディショナル ・全てのキャビネットが前向き ・効率的な無指向性 ・卓越した過渡特性	

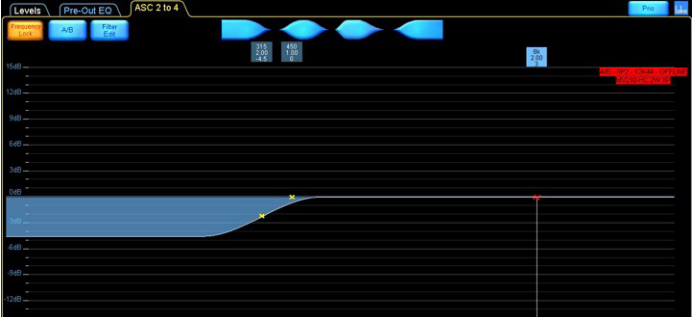
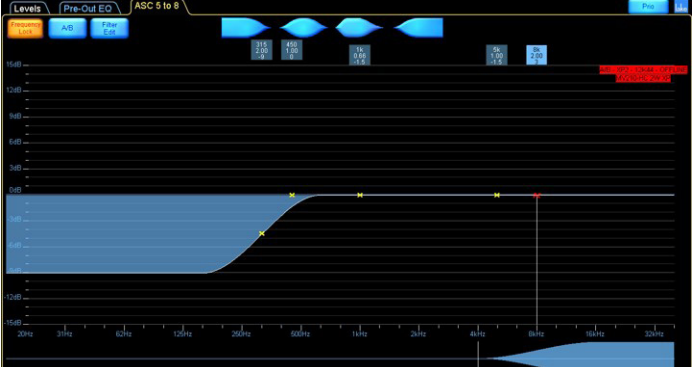
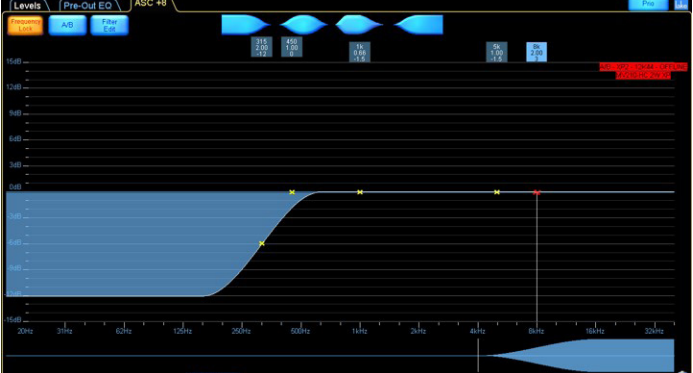
アレイサイズ補正 (ASC) オーバーレイ

3種類のASCオーバーレイが利用可能で、アレイ内すべてのエンクロージャーでASCを選択するのが推奨です。



6 dB低域シェルビング特性により、LF/MFアレイのカップリングを相殺します。

注意：MV210-HC1台の場合、通常は、ASC オーバーレイは不要です。

ASC オーバーレイの説明	OVERLAY
ASC 2 to 4: 2 ～ 4エレメント	
ASC 5 to 8: 5～8 エレメント	
ASC +8: 8 エレメント以上	

EQ の距離補正

すべてのスピーカーは距離による空気損失の影響を受けます。このオーバーレイセットは 3m単位で、距離に関わらずバランスの取れた高周波応答を保証します。採用しているピーキングフィルターまたはベルフィルターは、ハイシェルフフィルター（周波数のヘッドルームを不必要に使い果たし長距離に対応が困難）と異なり、高周波数帯域のヘッドルームの維持に優れています。

AirEQのルール：

同時に複数のフィルターをインサートしないでください。

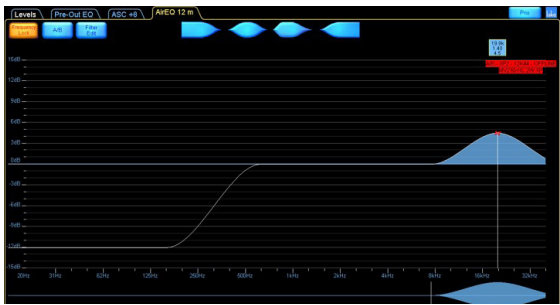
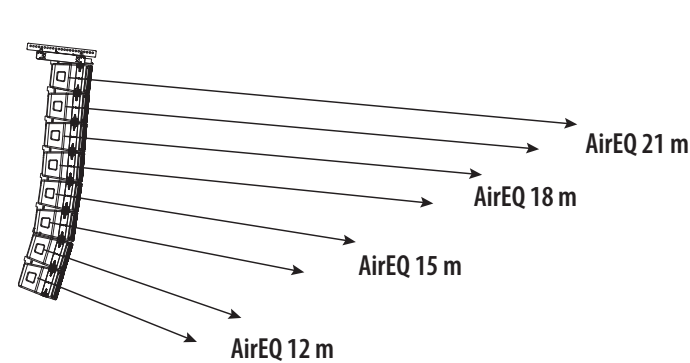
中距離の場合は、利用できる最も近い距離のオーバーレイを使用してください。

AirEQ オーバーレイは、9 m、12 m、15 m、18 m、21 m、24 m、27 m、40 m、50 m、および + 50 mが利用できます。 以下は、有用な周波数とゲインの距離による変化の例です：

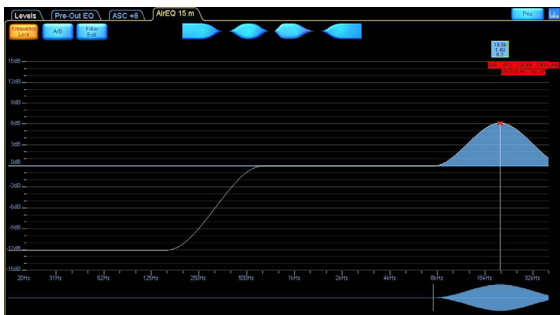
AirEQ12 m – 12mの距離を意図したアレイ内のエレメント

OVERLAY

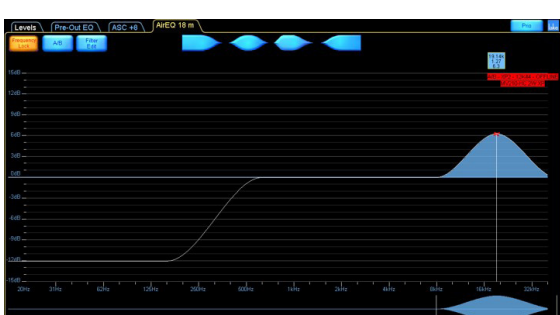
Two elements per amplifier DSP module block



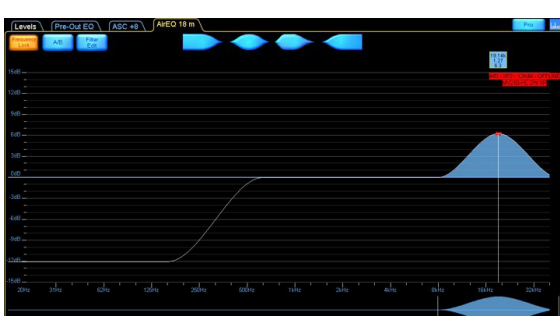
AirEQ15 m – 15mの距離を意図したアレイ内のエレメント



AirEQ18 m – 18mの距離を意図したアレイ内のエレメント



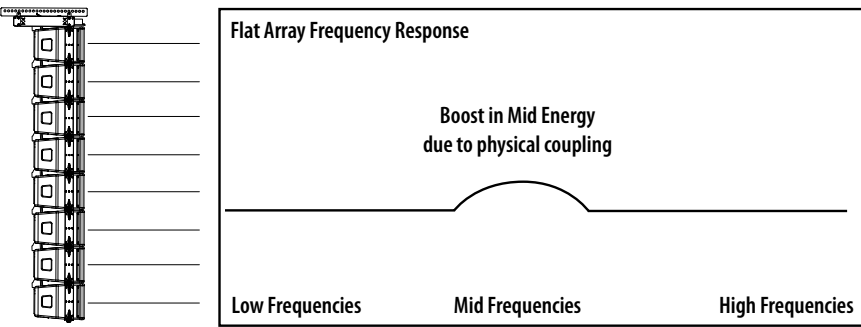
AirEQ21 m – 21mの距離を意図したアレイ内のエレメント



EQ ストラテジー：音場で周波数応答の一貫性を得るための考慮事項

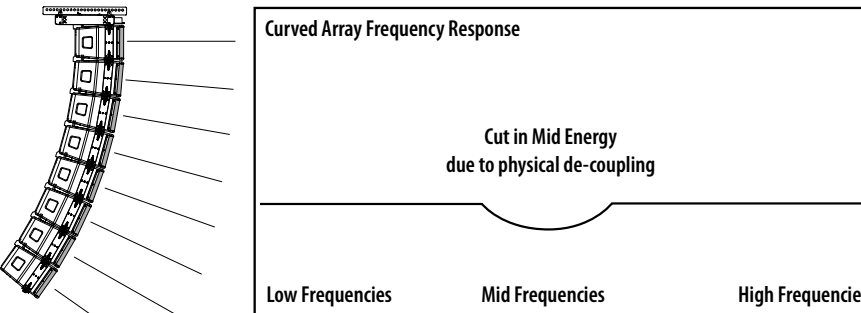
フラットアレイ（エレメント間角度が最小）では、通常630 Hz -2 kHz の中周波数帯域が増幅します。

Flat Array



曲面アレイ（エレメント間で、エレメント間角度を使用）では、通常630 Hz -2 kHz の中周波数帯域が減少します。

Curved Array



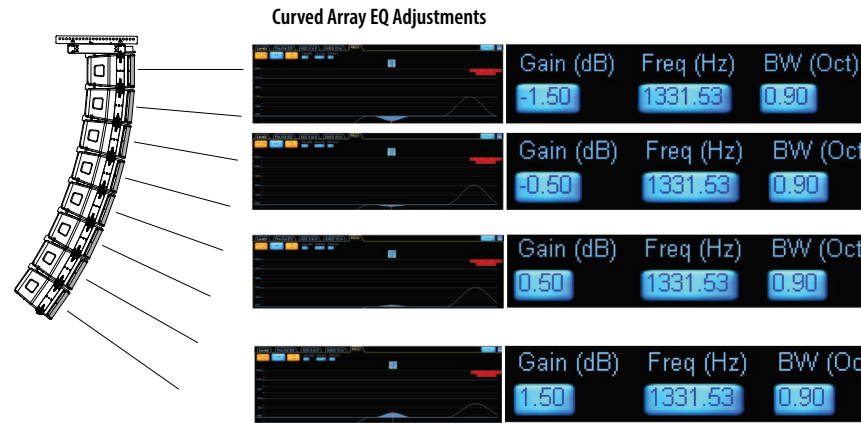
一貫した周波数応答を得るため、アレイの機械的な曲率に合わせ、EQストラテジーを分けることをお勧めします。

例：ここでは、8つのMV210-HCで構成された典型的な J カーブ アレイを例にとります。Lake DSP モジュールごとに 2 つの MV210-HC エレメントがあるため、カップリングとデカップリングを引き起こす、アレイの機械的照準の影響を受ける中域を微調節可能な、4 つの個別のゾーンが得られます。

多数ある業界標準の測定ソフトウェア システムのいずれかと、リファレンスマイクロフォンおよびサウンドカードを使用し、影響を受ける中域周波数を見つけ、各ゾーンを調整して、ゾーン/音場領域間で一貫した周波数応答を実現します。

Lake ソフトウェアをご使用になると、これらのソフトウェアシステムを統合できます。詳しい情報は www.labgruppen.com をご覧ください。

Curved Array



サブウーファー タイムアライメント

MS121のプリセットでは、初期タイムアライメント（キャビネットの前面が一行に並んでいると仮定）にオールパスフィルターを使用することにより、システムのレイテンシーが大きく低減されます。

例：MV210-HC と MS121 の前面が整列している場合、両プリセットで遅延をデフォルトの 0ms に設定する必要があります。

ただし現実には、フライングアレイとグランドスタックベースを垂直面に揃えることが常に可能であるとは限りません。

1. 右の図では、MS121サブウーファーは MV210-HCフライングアレイの「前方」に位置しています。そのため、MS121サブウーファーを遅延させる必要があります。

2. 右の図では、MV210-HCフライングアレイは、グランドスタックしたMS121サブウーファーの「前方」に位置しています。そのため、MV210-HCアレイを遅延させる必要があります。

フライング設置したスピーカーを、グラウンドスタックしたベースに合わせる際、適切な遅延時間をどう導き出したら良いでしょうか？

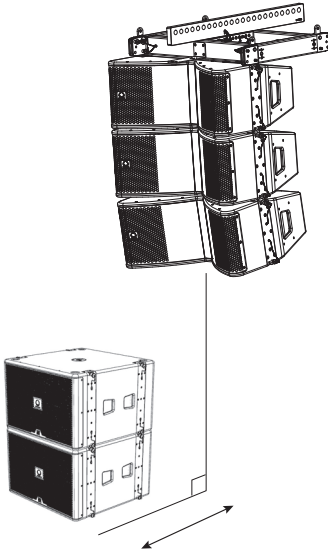
ディレイユニットの基礎知識があれば、フライング設置したスピーカーと、グランドスタックしたアレイの前面との距離を測定することで、好ましい結果を得られます。Lake ソフトウェアでディレイユニットを選択できますので（ms、m、またはfeet）、ご注意ください。

1 ms（ミリ秒） = 0.343 m（メートル）
= 1.125 ft（フィート）

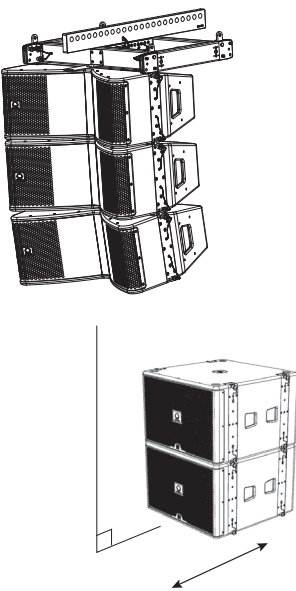
微調整は、多数ある業界標準の測定ソフトウェア システムのいずれかと、リファレンス マイクロフォン、およびサウンドカードを使用しておこないます。Lake ソフトウェアをご使用いただくと、こういったソフトウェア システムの多くを統合できます。詳しくは www.labgruppen.com をご覧ください。

ILLUSTRATION

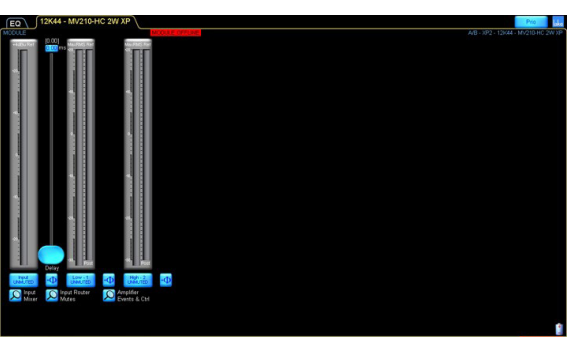
1. Subs are forward



2. Flown array is forward



OVERLAY



仕様

	MV210-HC	MS121
システム		
周波数応答 (-3 dB)1	58Hz~20kHz	25Hz~95Hz
周波数応答 (-10 dB)1	42Hz~20kHz	20Hz~200Hz
公称分散	100度(H)×20度(V)	オムニ
パワーハンドリング (IEC)	LF: 800W連続	2000W連続
	MHF: 190W連続	—
感度	LF: 102 dB (1 W @ 1 m) 2	97 dB (1 W @ 1 m)2
	MHF: 114.5 dB (1 W @ 1 m) 2	—
最大音圧	144デシベル3	142 デシベル4
インピーダンス	LF: 8 Ω	8 Ω
	MHF: 12 Ω	—
クロスオーバータイプ	外部バイアンプ	—
コンポーネント	2 x 10 インチ (250 mm) LF ドライバー	1 x 21 インチ (530 mm) LF ドライバー
	1 x 1.4 インチ (35 mm) 出口、ラージ フォーマットデュアル コンプレッション ドライバー	—
IP 評価	54	54
紫外線評価	4-5	4-5

困り		
コネクタ	2 x スピコン NLT4MP STX	3 x スピコン NLT4MP STX
配線	ピン 1+ / 1- LF、ピン 2+ / 2- MHF	ピン 1+ / 1- LF、ピン 2+ / 2- LINK (フロント ピン 2+ / 2- のみ)
寸法 高さ×幅×奥行き	295 x 715 x 545 mm (11.6 x 28.1 x 21.5")	599 x 777 x 800 mm (23.6 x 30.6 x 31.5")
正味重量	35.5kg (78.3ポンド)	87.4kg (192.7ポンド)
工事	15 mm (エンクロージャ) および 18 mm (フロント) のマリンバーチ合板、ベント付き、内部ブレース付き	21 mm と 18 mm のマリンバーチ合板を混合し、ベントと内部ブレースを使用
終了	ポリウレタンブラック、ご要望に応じてカスタムカラーも承ります	ポリウレタンブラック、ご要望に応じてカスタムカラーも承ります
グリル	粉体塗装穴あき鋼	粉体塗装穴あき鋼
フライング ハードウェア	3点リギングシステム	4点リギングシステム

付属品		
フライングリッド	MAN210-FG フライングリッド	MAN210-FG フライングリッド
垂直トランスポート	MV210-VT	MS121-VT

ノート 1. 記載された帯域幅の平均。軸上 1メートルで測定。
2. クレスト ファクター 4 のピンクノイズを、専用のプリセットで使用した、自由音場条件下での 1 m での SPL レベル。
3. オーバーラップ帯域幅の平均ピークレベル。専用のプリセットを使用して、軸上 1メートルで測定。
4. 専用プリセットで、クレストファクター 4 のピンクノイズを使用した半空間条件下での、1 mでのピークレベル。
Ease Dataは www.turbosound.com よりダウンロードいただけます。

距離（時間）は、聴取地点での位置合わせのため、フライングアレイに追加する差分です。

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

JP

